

# ズーム in「ネット社会」

## 試される人権意識・人権感覚



▲紙芝居「きみはすてき」

5年前から始めた人権教室で自作の紙芝居をしています。これは、「他人と比べなくていい。今のきみが一番すてきたよ」という思いを子どもたちに伝えたくて、「きみはすてき」と題した紙芝居を手作りしました。

ストーリーは、「自分の鼻が嫌で家のような長い鼻になりたい子豚、長い首が嫌で鹿のような短い首になりたいキリン、鳥のように空を飛びたい魚が主人公です。夢の中で、それぞれの望みがかない、みんな大喜びをします。しかし、子豚は鼻が長くなると重くて邪魔で食事もできない、キリンは首が短くなると高い木の葉っぱが食べられない、魚は羽がでけると羽ばたくのがやっとなで体中が痛くなってしまう。やっぱり元の姿が一番いいと気づく」という内容です。

私は紙芝居を通じて、「誰でもいいところがいっぱいあるのだから、がんばれー」と心の中でつぶやいています。子どもたちの考えや思いに触れ、感心したり、感動したりするなど、人権教室をして本当によかったと思っています。《人権擁護委員 加田平靖子》

人権擁護委員は、毎年、小学校を訪問して「人権教室」を開設しています。人権教室では、資料「種をまこう」や自作の紙芝居「きみはすてき」などを活用して人権について学びます。今年は、播磨南小学校3年生で人権教室が開かれました。

### 播磨町の人権擁護委員の活動

今年、世界人権宣言・人権擁護委員制度60周年です。昭和23(1948)年、国際連合において世界人権宣言が採択されました。また、同じ年、人権擁護委員制度が創設されました。今年、「世界人権宣言」と「人権擁護委員制度」、2つの60周年を祝う年です。



▲「共に生きよう ふれあいのまち」宣言シンボルマーク

### 人権デーと人権週間

人権デーは、世界人権宣言の採択を記念して、1950年の国連総会で採択日の12月10日を「人権デー」と決めました。一方、国内では、世界人権宣言採択の翌年(1949年)に、採択日の12月10日を最終日とした1週間を「人権週間」と定め、様々な人権啓発活動を行っています。播磨町では、人権週間に「こころふれあう 町民のつどい」を開催し、人権相談などを行っています。



▲インターネットに関わる人権侵害事件の推移

昨年、法務省の人権擁護機関が救済手続きを行ったインターネットに関する人権侵害事件の数は、前年比48.2%増の418件となりました。このうち、名誉棄損事案が154件、プライバシー侵害事案が181件となっており、この2つの事案だけで全体の約8割を占めています。

### インターネットは決して「仮想世界」ではありません

インターネットの中では、自分の名前や顔を知られることなく発言することができます。そのため、面と向かっては言えないような悪口を平気で掲示板などに書き込むケースが後を絶ちません。最近では、中高生などが運営する学校非公認サイト、いわゆる「学校裏サイト」において実名を挙げて誹謗中傷する事件が多発しています。

インターネットでは、だれでも簡単に情報を得ることができ、ため、掲示板などに書き込みを行うと、その内容がすぐに広がってしまいます。事実無根の誹謗中傷、他人に知られたくない事実が不特定多数の人々の目にさらされ、情報を書き込まれた人は、尊厳を傷つけられ、社会的評価をおとされるなど、

回復困難なほど重大な損害を被る危険があります。インターネットを見ているのは、現実の人であるということをお忘れはけません。

### 被害者はプロバイダに人権侵害情報の削除依頼を!

「プロバイダ責任制限法」により、被害者は、プロバイダなどに対し、人権侵害情報の発信者(掲示板などに書き込んだ人)の情報開示を請求したり、人権侵害情報の削除を依頼したりすることができます。開示請求や削除依頼は、証拠として保存するために、メールや文書で行うようにしましょう。

### 法務省の人権擁護機関に相談

削除依頼をしても、プロバイダが応じなかったり、削除する代わりに何らかの要求をしてくたりした場合は、最寄の人権擁護機関の窓口にご相談しましょう。(パソコン)  
<http://www.moj.go.jp/>  
<http://www.jinken.go.jp/>  
<http://www.jinken113.html>  
 (携帯電話)  
<http://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

## 入場無料 こころふれあう 町民のつどい



蟹瀬誠一氏



神谷徹氏

### プロフィール

テレマン室内管弦楽団の独奏者として海外演奏旅行に参加するなど、バロック音楽を中心としたリコーダーの演奏と指導で活躍している。25年以上前から市販のストローでユニークな笛を作りはじめ、世代を問わず誰にでも楽しめるストローコンサートが大きな話題となり、マスコミにもたびたび取り上げられている。

☎079(435)0565

- ▼日時 12月7日(日) 午後1時～3時35分(12時30分開場)
- ▼場所 中央公民館 大ホール
- ▼第1部 第28回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会地区予選入賞者表彰、朗読発表
- ▼第2部 ストローコンサート  
演奏 神谷徹氏
- ▼第3部 講演会 演題「共働きから子育てへ」  
講師 国際ジャーナリスト・キャスター 蟹瀬誠一氏
- ▼主催 播磨町、播磨町教育委員会、東はりま人権啓発活動地域ネットワーク協議会
- ▼共催 播磨町人権・同和教育研究協議会
- ▼協力 手話サークルはりま、要約筆記ひまわり
- ※駐車場に限りがありますので、徒歩か自転車でお越しください。
- ▼問い合わせ 生涯学習グループ人権教育チーム

1991年TBS「報道特集」のキャスターとしてテレビ報道界に転身。TVジャーナリストとして初めて世界最大のロシア原子力潜水艦の取材に成功する。テレビ朝日「スーパーモーニング」のメインキャスターや「サンデープロジェクト」の海外取材などで活躍する。現在は、共働きの子育て経験をもとに講演活動にも力を注いでいる。